

岡山市長 様

申請者（団体名）特定非営利活動法人岡山市子どもセンター
 所在地 岡山市北区久米 348 番地
 代表 役職 代表理事
 氏名 美咲 美佐子 ㊞

協働課 岡山っ子育成局子育て支援部地域子育て支援課
 所在地 岡山市北区大供一丁目1番1号
 代表 役職 課長
 氏名 藤原 恵子 ㊞

令和3年度 市民協働推進事業提案書

岡山市との協働により課題解決を図るため、令和3年度岡山市市民協働推進事業を提案します。

提案事業の名称	就学前親子の居場所づくり事業	
提案型	行政提案型	NPO提案型
①社会課題の概要	核家族化、地域関係の希薄化、少子化等の、子どもの育ちや子育てをめぐる環境の変化により子育てに不安感や孤立感等を感じる人が増えている。岡山市の調査でも「子育てや日常生活のことを話し合える人がいる」人の割合は減少しており、子育ての孤立化がみられる。また、令和元年度に実施した就学前親子の居場所に関するニーズ調査では、地域子育て支援拠点事業や児童館などについて認知しており利用希望はあるものの、利用に至っていない状況が明らかになった。親子の居場所の充実により子育ての不安感や孤立感の解消を図ることが求められる。	
②定性的効果 定量的効果	<ul style="list-style-type: none"> ●定性 親の子育てに対する不安な気持ち、子どもの遊び相手や遊び方の変化、支援者から見た親子それぞれの様子の変化、支援者自身の支援のあり方の変化、居場所の運営に関する年間目標の達成度 ●定量 子育てや日常生活について話したり相談できる人の有無など環境の変化、子どもとのコミュニケーションや遊ぶ時間の変化、居場所の利用に関する満足度 	
③提案事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ①就学前親子の居場所の運営 【常設】毎週火・水 10～13 時、木 14～16 時@みんな和やかサロン 【出張】毎月 1 回 10～13 時@大元公園・大元公民館 ②居場所の周知、取組の発信 ③子育て支援に関わるスタッフの資質向上のための研修への参加 ④就学前親子の居場所のあり方に関する報告書の作成 	
事業の実施予定期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	
事業予算総額及び 補助金申請額	事業予算総額	203 万 円
	補助金申請額	200 万 円

市民協働推進事業計画書

(1) 実施体制

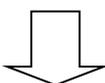
提案者	代表提案団体	特定非営利活動法人岡山市子どもセンター		(担当者名 窪田 昌子)			
	岡山市の担当者	課名	地域子育て支援課		電話	086-803-1224	
		担当	氏名	高村 泉		職名	課長補佐
			氏名	村松 祐介		職名	主任

(2) 事業の目標・内容 ※以下、数値や指標など用いながら具体的に記載してください。

①社会課題の概要	<p>核家族化、地域関係の希薄化、少子化等の環境の変化により子育てに不安感や孤立感等を感じる人が増えており、子どもの育ちと子育てを、社会全体で支援していく必要があるとされている。また、岡山市が実施した「子ども・子育て支援に関するアンケート調査」では、「子育てや日常生活のことを話し合える人がいる」との回答が以下のとおり変化しており、子育ての孤立化がうかがえる。</p> <p>(平成28年度：41.1% → 平成30年度：27.5%)</p> <p>岡山市では、地域子育て支援拠点事業や児童館など、子育て親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる取組を実施しているが、「岡山市就学前親子の居場所に関するニーズ調査(令和元年度)」ではこれらの事業について「知っていて、利用したいと思っているが、利用につながっていない」状況が明らかになった。また、子どもをおいた外出や、育児・家事・仕事の両立が難しいなど、子育てに孤立感やストレス感、困難感を抱えていることも確認された。さらに、「子どもが家ではできない遊びや新しい遊びを体験できる」「身体を動かして遊ぶスペースがある」への期待が80%を超える等、子どもの遊び環境に関するニーズも高いことがわかった。</p> <p>令和2年度は、ニーズ調査で明らかになった就学前親子の居場所の課題を解消し、「親子が気軽に集い、親同士の相互交流、子ども同士が異年齢の中で遊べる」といったニーズに沿った居場所を「みんな和やかサロン」として週3日運営している(A4・A3 資料参照)。ニーズ調査の結果を踏まえて作成した、支援内容や親子との関わり方の年間目標を基に、利用者親子が主体的に情報共有や交友関係の構築ができるよう取り組んでいる。子どもたちの成長発達過程で欠かせない外遊びの重要性や楽しさも、居場所での実践を通して親への理解を促している。</p> <p>引き続き、子育ての不安感や孤立感の解消をめざすとともに子どもの健やかな育ちを促すための、親子の居場所の望ましいあり方を追究し、岡山市全体の子育て支援の拡充を図ることが求められる。</p>
----------	--

<p>②定性効果と定量的効果</p>	<p>解決する具体的な内容：子育ての不安感や孤立感の解消、子どもの育ちを促す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定性的効果 <ul style="list-style-type: none"> 親の子育てに対する不安な気持ち、子どもの遊び相手や遊び方の変化 支援者から見た親子それぞれの様子の変化、支援者自身の支援のあり方の変化 居場所の運営に関する年間目標の達成度 ●定量的効果 <ul style="list-style-type: none"> 子育てや日常生活について話したり相談したりできる人の有無など環境の変化 子どもとのコミュニケーションや遊ぶ時間の変化 居場所の利用に関する満足度 <ol style="list-style-type: none"> ①利用者向けアンケート調査 <ul style="list-style-type: none"> 子育て不安や子どもの様子、子育て環境等の変化、居場所の満足度/定性・定量 ②日誌の分析 <ul style="list-style-type: none"> 支援者から見た親子それぞれの様子の変化/定性 ③支援者向けグループインタビュー <ul style="list-style-type: none"> 支援者自身の支援のあり方などの変化の測定/定性 ④支援者による事業評価 <ul style="list-style-type: none"> 居場所の運営に関する年間目標の達成度/定性
<p>③提案事業の内容</p>	<p>2年目の目標</p> <p>令和元年度のニーズ調査結果を踏まえて設定した年間目標に基づき運営する、常設および出張による居場所の利用を通じて、子育て不安や孤立感の解消をめざすとともに子どもの育ちの促進を図る。2年間の事業成果を受け、利用者の子育て不安や孤立感の解消が図られるような居場所のあり方に関する報告書を作成する。これにより、岡山市の地域の子育て力の向上に寄与する。</p> <hr/> <p>(NPO)</p> <p>①就学前親子の居場所の運営</p> <p>【常設】毎週火・水 10～13 時、木 14～16 時@みんな和やかサロン（北区久米）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> 外遊び・室内遊びの提供、親への声掛け、子どもへの遊びの促進など (2)子育て相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> 食事等日常生活に関する相談への対応 相談内容に応じて専門機関を紹介、居場所で様子の見守りを実施 (3)子育て支援に関する講座等の実施（月 1 回） <ul style="list-style-type: none"> 利用者のニーズに沿った講座内容の企画および実施 (4)地域ぐるみの子育て支援の促進 <ul style="list-style-type: none"> 他団体等との協働による子育てイベントの企画・実施 施設近隣で開催される地域行事等への参加促進など <p>【出張】毎月 1 回 10～13 時@大元公園・大元公民館</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 (2)子育て相談の実施

	<p>②居場所の周知、取組の発信</p> <p>(1)常設の通信の発行（月1回）に出張の居場所についても掲載し、常設と出張先の近隣学区に回覧、郵便局等近隣施設や公民館に掲示</p> <p>(2)SNSによる居場所の様子報告（月数回）</p> <p>③子育て支援に関わるスタッフの資質向上のための研修への参加</p> <p>④就学前親子の居場所のあり方に関する報告書の作成</p> <p>利用者向けアンケート調査、日誌の分析、支援者向けグループインタビュー、支援者による事業評価などから分析、報告書を作成</p>
	<p>（岡山市）</p> <p>①就学前親子の居場所での実施内容等の協議</p> <p>市有施設の予約・減免申請等、会場の調整</p> <p>②周知広報（市政だより、子育て応援サイト等）</p> <p>③岡山県等が主催する、子育て支援に関わるスタッフの資質向上に関する研修情報の提供、参加調整</p> <p>④就学前親子の居場所のあり方に関する報告書の作成援助</p>



（3）事業終了後の事業

<p>事業終了後の方針</p>	<p><input type="checkbox"/> 次年度に一般施策</p> <p><input type="checkbox"/> 市民協働推進事業として事業を継続し、次々年度に一般施策</p> <p><input type="checkbox"/> 次年度に提案団体の自主事業</p> <p><input type="checkbox"/> 市民協働推進事業として事業を継続し、次々年度の自主事業</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他（次年度の一般施策に向けて研究・調整を行う）</p>
<p>事業の内容</p>	<p>2年間の協働事業で得られた親子の居場所の望ましいあり方について、庁内及び既存施設と情報共有し、岡山市の子育て施策の向上を図る。また、国と同様に、NPO など多様な主体が今以上に岡山市の子育て施策に参画できるように検討していく。</p> <p>国は、行政だけでなく NPO など多様な主体の参画による地域の支え合い、子育て当事者による支え合いにより、地域の子育て力を向上させることで子育て親子の不安感や孤立感の解消を目指している。</p> <p>NPO 法人として岡山市の子育て支援施策への参画を図り、地域の子育て力向上の一助とする。</p>

(4) 事業スケジュール

時期		実施内容など				
		①居場所運営	②周知・発信	③研修参加	④報告書作成	
4月	上旬	(1) 火水3時間、木2時間の常設居場所、毎月1回の出張居場所の実施 (2) 随時、子育て相談に対応し、記録をするとともにその後の様子を見守り (3) 毎月1回、利用者のニーズに応じた子育て講座を実施(絵本、発達、睡眠、水遊び、ベビーマッサージ、免疫力、食事栄養、母親の身体ケアなど) (4) 適宜、地域の団体等との協働によるイベント等を企画・実施、また、地域行事等への参加を促進する	(1) 毎月1回、通信を発行し近隣学区に回覧するほか、近隣施設等に配布 (2) 毎月数回、SNSによる居場所の情報発信		①利用者向けアンケート調査の実施 ②日誌の分析 ○報告書作成へ向けて項目整理および役割分担の決定(以後、各自でまとめ作業を行う)	
	中旬					
	下旬					
5月	上旬					
	中旬					
	下旬					
6月	上旬					
	中旬					
	下旬					
7月	上旬					
	中旬					
	下旬					
8月	上旬					
	中旬					
	下旬					
9月	上旬					
	中旬				子育て支援員研修(基本研修)(岡山県主催)	○報告書中間まとめ作業
	下旬					
10月	上旬					
	中旬					
	下旬					
11月	上旬				子育て支援員研修(専門研修)、地域子育て支援拠点事業従事者現任研修(岡山県主催)	
	中旬				地域子育て支援拠点等従事者基礎講座①(岡山県主催)	
	下旬					
12月	上旬					
	中旬		地域子育て支援拠点等従事者基礎講座②(岡山県主催)			
	下旬					
1月	上旬			④事業評価の実施		
	中旬					
	下旬					
2月	上旬			○報告書仕上げ		
	中旬					
	下旬					
3月	上旬					
	中旬					
	下旬					

市民協働推進事業収支予算書

提案事業名	就学前親子の居場所づくり事業
-------	----------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体		
	自己資金		
	合同提案 団体負担金等		
自己資金合計 (a)			
その他収入	参加費 (実費)	20,000 円	
	寄付 (ベターライフ御南)	10,000 円	
その他収入合計 (b)		30,000 円	
岡山市補助金申請額 (c)		2,000,000 円	
収入合計 (d) = (a) + (b) + (c)		2,030,000 円	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	人件費 (スタッフ)	1,484,100 円	火・水@850 円×4h×3 人×8 日×12 ヶ月 木@850 円×3h×3 人×4 日×12 ヶ月 出張@850 円×4.5h×3 人×1 日×12 ヶ月
	人件費 (イベントスタッフ)	13,770 円	@850 円×4.5h×0.3 人×1 日×12 ヶ月
	報償費 (アドバイザー)	84,000 円	@7,000 円×12 ヶ月
	報償費 (講師謝金)	55,680 円	@5,568 円×10 人
	負担金	10,000 円	研修会参加費 @500×5 人×4 回
	消耗品費	71,450 円	インク、コピー、絵本など
	食糧費	5,000 円	会議でのお茶代
事業実施経費合計 (e)		1,724,000 円	
管理運営経費	人件費 (事務局)	306,000 円	@850×6h×5 日×12 ヶ月×1 人
管理運営経費合計 (f)		306,000 円	
総事業費 (g) = (e) + (f)		2,030,000 円	

(添付書類等)

- ・人件費等については、積算の根拠 (これまでの実績や独自の単価表) を添付すること
- ・参加料などの事業収入を見込む場合は「その他収入見込」欄に計上すること
- ・委託費は補助金交付申請額の3分の1以内に限りま